

参考

<http://128bit.blog41.fc2.com/blog-entry-392.html>

<http://meridianstar.blog15.fc2.com/blog-entry-99.html>

PC から AV アンプへの出力方法の種類

PC から AV アンプに出力する経路は主に以下のものがある。

- ・ アナログ
- ・ デジタル
 - ・ HDMI
 - ・ 光デジタル (S/PDIF)

PC で扱うサラウンドの種類

PC でマルチチャンネルの音声の扱いは大きく 2 つある。

- ・ パススルー
- ・ マルチチャンネルの音声を PC で制御

パススルー

音声データを光デジタルで AV アンプにそのまま渡す方法。

動画や音声再生ソフト側でパススルー設定することによって映画や音楽を AV アンプにそのままのデータを渡すことができる。

通常、パススルーが有効になっている場合は、AV アンプで PC で出力した音声のフォーマットの情報を確認できることが多い。

例

- ・ VLC Player や MPC などのパススルー
- ・ foobar2000 での WASAPI

マルチチャンネルの音声を PC で制御

マルチチャンネルの音声をアナログや HDMI に出力する方法。

元データがマルチチャンネルであれば特別なツールなどは必要ない。

ゲームや youtube のマルチチャンネルはこの方法。

ただし、HDMI を使う場合は EDID によって不安定になったりするので注意が必要。

マルチチャンネルの音声を光デジタルで AV アンプに渡したい場合は、Dolby Digital Live や DTS Connect という技術を使う。

Dolby Digital Live や DTS Connect に対応したサウンドカード (サウンドユニット) を使うことでマルチチャンネルの音声をリアルタイムで光デジタルに渡すことができる。

自分的な落とし所

HDMI も光デジタルも完璧ではないが、新しい接続方式ができるか HDMI が音声のみを扱えるようになるまでは光デジタルがいいと思う。